

つばさロジスティクス社外取締役 就任

労務管理から運送業のホワイト化を後押し



横本 恭弘

図り管理職をはじめとする担当者・ドライバーの意識改革、当事者意識の醸成を刺激していきます。また安全運行管理上からも社内のコミュニケーションの円滑化を図る機会を増やしていきたいと思ひます。それはウェルビーイングの追い風にもなるでしょう。

●従業員の幸せとは

労務管理の問題というのはそれ自体がウェルビーイングなので。例えば、病気になったときのサポートはもちろん、病気にならないようなサポートをする。つまり、ドライバーが「走れなくなる」という状況をつくらないことです。

「職場環境を整えて安心して働ける状況を会社としてつくっていく」ことが、従業員の「幸せ」につながると考えます。その考えは法令順守にもなり当社のコンプライアンス遵守にもなるからです。

●ご挨拶

つばさロジスティクスのさらなる会社の成長のために労務管理の定着を目指します。規模が拡大するにつれ生じる歪みを是正し、難しいと言われている運送業でのホワイト（企業）化を成し遂げるためにも、労務上の問題は避けて通れないからです。

●私たちの役割

すでに参加している拠点長会議などを通じて、労務管理上のPDCAサイクルの回転の適正化を

エールロジスティクス代表取締役

つばさホールディングス取締役 就任

多様な働き方ができる企業体に



山本 敬之

図っています。また財務戦略として、リースの適正化を図り毎月黒字になる体質づくりに動いています。いま、まさに事業内容の変革をしていく最中にあるといえます。また“安全確保”の面でも今後つばさロジスティクスとの協力関係も課題の一つです。つばさホールディングスについては各社資産における組合比重の適正化、リース事業、M&A、内部統制などを中心に見ていくこととなります。

●従業員の幸せとは

私の方でできることはM&Aなので、運送を中心としたコングロマリットを形成したいと考えています。つまり、つばさホールディングスでいるような業種を抱えることでグループ内転職（人財交流）ができます。それが物流以外でも可能になれば、若い人から年輩の人まで、親子3代で勤められるような会社になれる、それが理想ですね。

●ご挨拶

高栄運輸時代からのお付き合いがあり、つばさトラック事業協同組合でリースのスキームを提案させていただき、そこからトラックのリースなどで協力させていただいています。また落合興業社（現エールロジスティクス、以下エール）とのM&Aを共にすすめるということもしてきました。

●私の役割

エールに関しては、現行の事業を事業部制として再編し効率化を

つばさホールディングス 社外取締役 就任

やりがいとお金がバランスよく存在する状態に

●ご挨拶

外資系証券会社、ベンチャー企業、澤田ホールディングスをはじめ、いままで培ったビジネスの経験を活かし、現在は、セミナーや研修を通じ、企業のお金の管理の仕組みづくりをしています。現つばさロジスティクスのウェルビーイング室室長、松田朗子さんとの出会いがきっかけで猪股さんを紹介され、研修をさせていただく中で、この度社外取締役を仰せつかりました。

また私はコミュニケーションのハードルを下げるため、気軽に「あっきー」と呼んでくださいと周囲にお願いしています。お会いした時は、気軽に声をかけてください。

●私の役割

社外取締役という立場から、皆さんが会社をどうしていきたいか、そこを纏める際の手助けをさせていただきます。私は物流業界

の実務経験はありませんが、他業界の違う視点をシェアさせていただき、会社で方向性を考えていく際など、私の知見がお役に立てばと考えています。6月には早速「世界一易しくて優しい財務講座」を開かせていただきました。

●従業員の幸せとは

幸せのカチとは、自分の中でやりがいとお金がバランスよく存在する状態だと思います。やりがいだけあってもダメだし、お金だ

つばさホールディングス社外取締役 退任

物流を円滑に行うことが使命



小川 健

れがまず使命で、業務を通じて地域社会に貢献する、ということが一番重要だと思います。来年に迫る2024年問題、解決しなければならない課題が山積ですが、いまこそ会社の軸をしっかり持って社内外に臨む姿勢が求められます。社内に社長と同じように会社をリードしていく人を育てていき、何人かで会社を引っ張っていく、それがつばさの次のステップではないかと思ひます。

●従業員の幸せとは

会社にとっては「雇用関係、給与水準も含め、この会社に勤めていて大丈夫」ということを示すことが、一番大事だと思います。つまり、「会社は、みなさんの力で社会に貢献もできて、その結果としてみなさんとその家族の安定があるということ」、これですね。それらを総合的に捉えて「幸せの形」というのではないのでしょうか。

●組織の役割

つばさホールディングスグループにとって物流を円滑に行う、こ

●ご挨拶

この度、取締役を辞任させていただきますが、引き続き経営に関しては何かあれば、小川会計としてお付き合いを続けさせていただきますので、事実上支障はないと思ひます。また、今後公益的な仕事に就くこと、課題に区切りがついたこと、この2つの理由から今回の判断に至りました。

●組織の役割

つばさホールディングスグループにとって物流を円滑に行う、こ

カーライフサービス多摩車両代表取締役社長

FUロジテック代表取締役

つばさホールディングス取締役 就任

整備業界の当たり前を崩したい



野口 博明

もちろん、変えられるものと変えられないものがありますから、そこを見極めつつより良い環境作りのために邁進していきます。

多摩車両とFUロジテック、同じ整備というところで協業していければ、経営に対してプラスの相乗効果も期待できます。

●従業員の幸せとは

「環境作りをしていく中で、働く人の幸せを」と、冒頭に述べましたが、私が考える幸せのカチは、“心と身体の健康”だと思っています。

言い換えれば、心と身体、双方のバランスが取れている状態です。例えば、心の部分で言えば、それが「お給料」の人もいれば、「働きやすさ」という人もいます。心の健康は人それぞれですが、働く人の一人でも多くが、自分なりの幸せのカチを実現してもらえれば嬉しいですね。

●ご挨拶

代表就任にあたって、まず整備業界の“当たり前”というのを崩したいということ。前例や常識にとらわれず、新しい視点で既存の作業を検証・変革し、働く人たちが幸せになれるような環境を作りたいと思っています。

●私の役割

整備の世界に新しい風を入れていく！長く物流業界にいて、端から見て違和感のあることも当たり前感覚になっていました。

多摩フードサプライ 社外取締役 退任

「個」の尊厳こそが「軸」に



角田 謙之

役も辞し外部からTFSの成長を見届けることにしました。

●組織の役割

社員が本当に報われるには、中長期的には脱下請け、そして新卒を採用するには食品メーカーを目指すのであればダメだ！そのためには経営施策を一つひとつ実行していく。「やりたいことは、やってみる」、つばさグループ全体に通じるこの精神、菅野さんを筆頭にTFSが一丸となって羽ばたいてくれると期待しています。

●従業員の幸せとは

つばさホールディングスの場合、ウェルビーイングとダイバーシティ。この2つが必要です。この2つを繋ぐものは「個」であり、「個」の尊厳、そこが「軸」になります。「幸せ」は一人ひとり違います。私の中では両翼で個を尊重する、その姿勢が大事だと思っています。

●ご挨拶

私は経営状態が思わしくなく、テコ入れを模索していた猪股さんを見て、なにかに引き寄せられたように多摩フードサプライ（以下、TFS）の代表取締役に就きました。すでにTFSには将来の社長を目指す菅野さんを中心に家族的で温かい雰囲気がつくられていて、私は菅野さんをはじめ社員・パートさんのモチベーションを上げるための施策をすすめ、再建への道筋を確認しこの度、社外取締

つばさホールディングス 取締役 就任

地域にしっかりと根を下ろした企業に



窪田 圭吾

活性化する支援部隊」の一人として、私もその一翼を担っていくつもりです。

●私の役割

つばさホールディングスグループは、会社の理念などにもありますように、「社会に必要な地域になくはない企業グループになるといったところに向けて進んでいく」、私の役割もそのためにあると思っています。地域にしっかりと根を下ろした企業として、到達点は「多摩地域と言えつばさ」、これが目指すところです。

●従業員の幸せとは

私が考えるに会社にとっては、従業員が幸せでいてくれることが有難いことで、毎日幸せな気持ちで働いて欲しいと願っています。それが個人にとっても会社にとってもプラスになります。「幸せ」とは個々で違いがあります。従業員の皆さんに「個々の幸せ」を感じてもらえれば嬉しいです。

●ご挨拶

この度つばさホールディングスの取締役就任に際し、今までは軸足は事業会社側にありましたが、それではいけないのだな、と感じています。以前よりはグループ全体の貢献を意識しながら、事業会社にも関わりつつ、取締役としての人財、総務について、しっかりと関わっていかないといけないと思っています。今後、つばさホールディングスと各事業会社間の交流がさらに増え、「日本一現場を

つばさホールディングス 顧問 就任

自発的に道を切り開ける人財採用と育成をサポート

●ご挨拶

認定NPO法人テラルネッサンスを23年ほど経営しています。昨年8月からは国際協力NGOセンターの理事長を務め、ビジネスの分野ではなく海外支援や地球規模課題の解決、いわゆる社会貢献の分野で活動してきました。子供の社会復帰や地雷の除去などの支援が活動の一例としてあります。猪股さんとは古くからご縁をいただいていた、この度顧問に就任させていただきました。

●私の役割

NPO、NGOで働く人々は給与待遇だけではなく、相対する人やその人の先にいる社会全体に、自分たちの活動を通して波及させて

いきたいという使命感をもって働いています。私はそういったグローバル人財、リーダー人財採用や育成を進める一環として、佐賀県の事業に参加し高等学校で授業を行っています。

つばさホールディングスは全従業員が持つ「つばさレシピ」に書かれているように、利益だけでなくその先に何があるか、自社を通じて社会にどのようにインパクトを与えたいかが明確な会社だと思っていますので、ビジネスの分野にも私のこれまでの知見が少しでも役立てられるのではと思って就任に至りました。

つばさホールディングスの大事にされている理念に基づいて自発



三嶋 義明

けあってもダメだし、その2点が兼ね備わって、はじめて幸せな状態になる、このバランスが大事だと思います。



鬼丸 昌也

的に道を切り開いていく人財育成にお役立ちができるよう、サポートしてまいります。よろしく願いいたします。